



平成29年度

地域活動支援センターふらっと公開講座



# みんなが 共に暮らすまち

～コミュニティホームべてぶくろの当事者研究活動の実践から～

日時：平成30年2月18日(日) 13:30～15:30 (受付13:00～)

会場：富士宮市総合福祉会館2階 安藤記念ホール

講師：向谷地 宣明 氏 (コミュニティホームべてぶくろ主宰者)  
べてぶくろ当事者研究参加メンバーのみなさん

募集人数 330名 (先着順)

参加費 無料

応募方法

裏面の参加申込用紙に必要事項をご記入のうえ地域活動支援センターふらっとまでご持参いただくか、郵送またはFAXでお送り下さい。お電話でも受付いたします。

申込締切

平成30年2月10日(土)

問い合わせ先

富士宮市社会福祉協議会地域活動支援センターふらっと  
TEL0544-22-1315 FAX0544-22-1316

# 講師 向谷地 宣明 氏



1983年北海道・浦河町生まれ。

北海道浦河町の社会福祉法人「浦河べてるの家」理事で北海道医療大学教授

向谷地生良氏の長男。

生まれた頃から、べてるの家の精神障害を体験した当事者達と共に育った。

国際基督教大学卒業。株式会社エムシーメディアン(東京・豊島区)代表取締役。

医療法人宙麦会理事、同法人ひだクリニック(千葉・流山市)職員。

当事者研究のワークショップを各地で主催する他、各地域の家族会や当事者会

活動を応援している。(WEBページ Hatena Keyword より)

## 「べてぶくろ」とは

「べてぶくろ」は、「べてる」と「いけぶくろ」をかけた名称です。北海道・浦河に、精神障害等を抱えた当事者の活動拠点「べてるの家」があります。そこでは「社会福祉法人浦河べてるの家」、「有限会社福祉ショップべてる」などの共同体が集まり、1984年の設立から現在では100名以上の当事者が暮らしています。それらの総称として「べてる」と呼ばれています。べてぶくろでは、その「べてる」が大事にしているものを受け継ぎつつ、東京・池袋をスタート地点として、共同住居やグループホームの運営、当事者研究、べてるの商品販売等をはじめ、独自の活動を広げています。

(※「べてぶくろ」は「社会福祉法人浦河べてるの家」の事業ではありません。独立した任意団体です。)

池袋では、ホームレス状態にありながら、障害を抱えている人がたくさんいます。

地域で孤立した障害のある人は、生活困窮に陥りやすく、そのうちの少なくない数の人々が路上生活をはじめているのです。一方で、既存の福祉支援策では、住居や家族の問題、病気や障害、貧困などの重複した生きづらさをもっている人たちに対して、解決策を見だし難いという現状もあります。

そこで、本人にとって必要な社会資源につながるまでの間、安心して暮らせる住居を提供しようというところから、浦河発、東京育ちのべてぶくろがはじまりました。

きっかけはホームレス。現在では、元ホームレスの人だけでなく、当事者研究やべてるに関心がある人などが集い、べてぶくろならではの活動がはじまっています。(べてぶくろホームページより)



## 地域活動支援センターふらっと公開講座参加申込書

氏名			性別	男・女
連絡先	電話			